

区ビジョン基本方針 江南区

◆ 区の将来像

緑と調和した、賑わいと安らぎのあるまち

◆ 区の担う役割

- 本市のほぼ中央に位置し、都心部に近接した地理的条件を活かし、副都心機能や流通・商業機能、快適な居住機能を担います。
- 優良農地を活かした都市近郊型農業による食料供給機能を担うとともに、多様な生産・販売による生産者と消費者の交流機能を担います。

◆ 目指す区のすがた

《交通の利便性を活かし交流するまち》

- 日本海東北自動車道、磐越自動車道をはじめ、国道49号・403号、主要な県道などの広域幹線道路の結節点やJR信越本線を有する交通の要衝に位置することから、大規模商業施設や福祉文教施設などを活用したヒト・モノが交流するまちを目指します。

《豊かな自然と都市機能の調和が取れたまち》

- 田園や信濃川・阿賀野川などの恵まれた自然環境の保全に努め、豊かな自然と都市機能をもつ利便性を兼ね備えた、快適な居住環境の整ったまちを目指します。

《人とふれあう安心のまち》

- だれもが住み慣れた地域で安心して暮らせるように、「助け合い」「支え合う」人と人とのふれあいを大切にするまちを目指します。

《特色ある農産物を生産するまち》

- 生産者と消費者の積極的な交流を図るとともに、稲作をはじめ、野菜、果樹・花きなどの都市近郊型農業を振興し、付加価値の高い安心・安全な農産物を供給するまちを目指します。

◆まちづくりに向けた施策の方向

(1) 交通の利便性を活かす

① 道路交通網の整備

幹線道路や区域内の公共交通網の整備により、交通の利便性向上や地域間交流の拡大を図ります。

② 亀田駅周辺の整備

JR 亀田駅の周辺整備を行うことにより、地域の活性化を図るとともに、福祉施設や文教施設も含めた交流の拠点を形成します。

③ 鉄道の利便性の向上

二本木地区において、JR 新駅の設置や、(仮称)新潟中央環状道路とリンクしたパークアンドライド施設の整備などを含めた、新しいまちづくりに取り組みます。

(2) 憩いの空間づくり

① 水辺を活かしたやすらぎ空間の整備

阿賀野川・小阿賀野川や北山池などの水辺を活用し、四季折々の草花を楽しむことのできる施設整備に取り組みます。

農業水利施設などを地域の宝物として活かし、保全し活用するために、関係団体・住民・行政が一緒になって計画・整備などを行い、憩いの水辺空間づくりを進めます。

(3) 歴史・文化・スポーツの振興

① 文化・学習施設の整備

文化ホール・生涯学習施設・図書館・郷土資料館などの機能をもつ文化・学習施設を整備し、多様な学習ニーズへの対応を図ります。

② スポーツ施設の整備

屋内多目的運動場や武道場などを整備し、生涯スポーツの振興を図ります。

③ 歴史文化遺産の活用

郷土の貴重な歴史・文化施設を活用して、人の交流を進めます。

(4) 安心して暮らせるまちづくり

① 協働のまちづくり

市民が自主的な地域コミュニティ活動を充実することで、市民と行政が協働し、豊かで安心して暮らせるまちづくりを進めます。

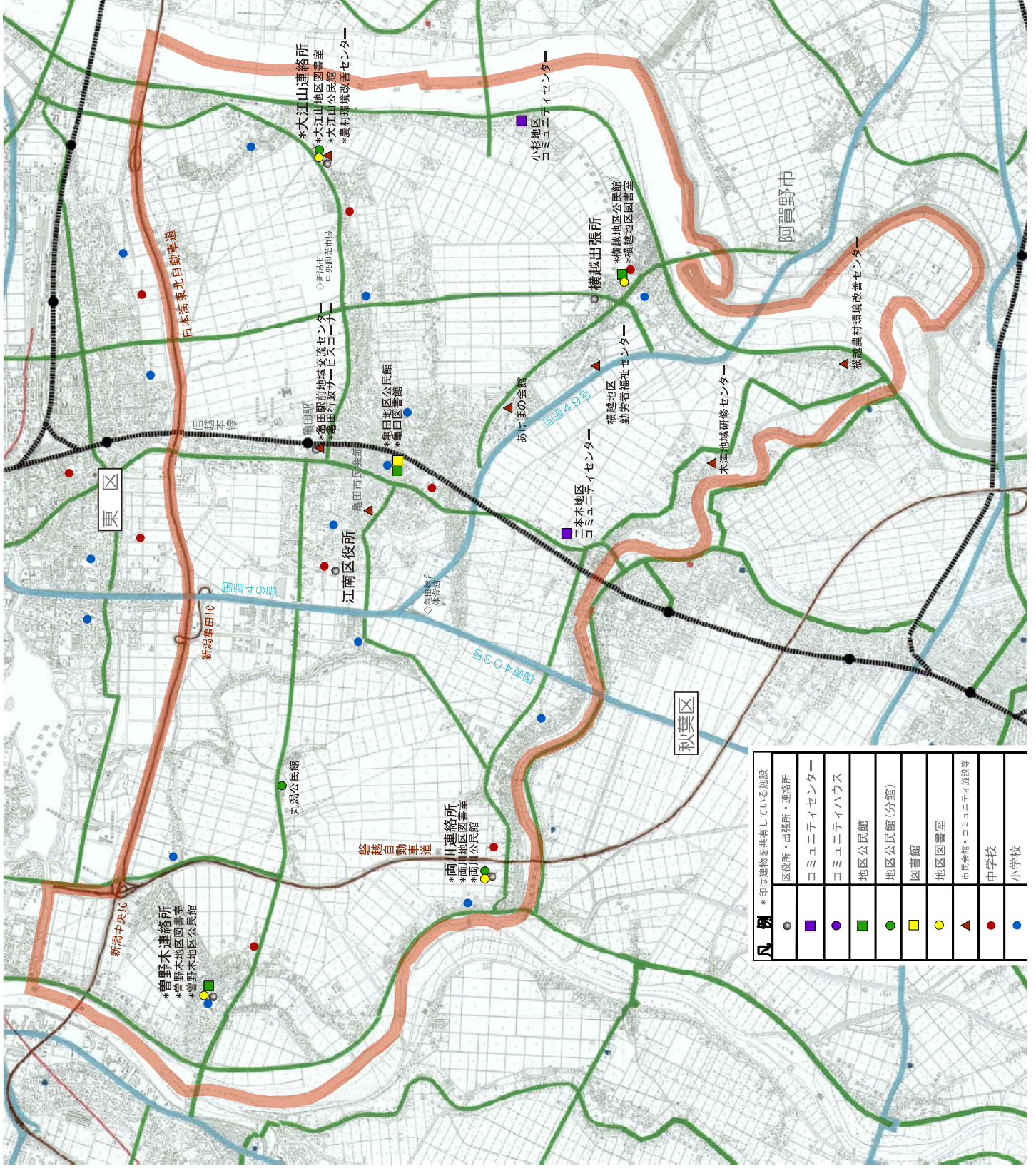
② 地域で支えあう福祉のまちづくり

地域にある福祉の拠点性を活かし、市民相互のふれあいと支え合いを進めるとともに、市民と行政が連携して、安心して暮らせる福祉のまちづくりを進めます。

(5) 農水産物を通じた交流

① 生産者と消費者の交流の促進

新潟市中央卸売市場などを利用した農水産物のイベントや農産物の直売所などを通じて、生産者と消費者との交流を促進するとともに、安心・安全な生鮮食料品の安定供給を図ります。



凡例 *印は建物を共有している施設

●	区役所・出張所・連絡所
■	コミュニティセンター
●	コミュニティハウス
■	地区公民館
●	地区公民館(分館)
■	図書館
●	地区図書室
▲	市民会館・コミュニティ施設等
●	中学校
●	小学校